

副専攻名 経済政策**副専攻のCP(カリキュラム編成方針)**

経済政策の策定と適用方法や、社会の公共的領域の運営・管理を学ぶ専門科目群を幅広く配置する。この中から学生は、各自の興味に応じて自主的に履修計画を作成することが出来る。

副専攻の学習成果

1. 幅広い教養を身につけ、複眼的に現代社会を視る目を養う。
2. 経済学・経営学を学ぶに必要な基礎的な考え方や分析手法を修得する。
3. 市場経済のしくみと政府の役割を理解する。
4. 国際経済、国際社会の動向および外国経済事情に対する理解を深める。
5. 現代経済社会が形成されるに至った過程及び背景を理解する。
6. さまざまな経済学説や理論を修得する。
7. 国際社会、日本社会、地域社会が抱える諸問題を理解し、解決の為の政策立案能力を養う。
8. 将来、社会の一員として働くことの意識を高めるとともに、キャリア形成のための基盤を形成する。
9. 課題を発見し、自ら調べ、解決策を導き出す能力を培う。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学年	開講期	
			前期	後期
33138	経済政策論	2～4		
33140	金融経済論	2～4		
33143	金融制度論A	2～4		
33145	金融制度論B	2～4		
33195	社会政策論Ⅰ	2～4		
33197	社会政策論Ⅱ	2～4		
33199	社会政策論Ⅲ	2～4		
33201	社会政策論Ⅳ	2～4		
33151	社会保障論Ⅰ	2～4		
33153	社会保障論Ⅱ	2～4		
33155	財政学A	2～4		
33157	財政学B	2～4		
33159	地方財政論A	2～4		
33161	地方財政論B	2～4		
33163	地域経済論A	2～4		
33165	地域経済論B	2～4		

副専攻名 経済政策**副専攻のCP(カリキュラム編成方針)**

経済政策の策定と適用方法や、社会の公共的領域の運営・管理を学ぶ専門科目群を幅広く配置する。この中から学生は、各自の興味に応じて自主的に履修計画を作成することが出来る。

副専攻の学習成果

1. 幅広い教養を身につけ、複眼的に現代社会を視る目を養う。
2. 経済学・経営学を学ぶに必要な基礎的な考え方や分析手法を修得する。
3. 市場経済のしくみと政府の役割を理解する。
4. 国際経済、国際社会の動向および外国経済事情に対する理解を深める。
5. 現代経済社会が形成されるに至った過程及び背景を理解する。
6. さまざまな経済学説や理論を修得する。
7. 国際社会、日本社会、地域社会が抱える諸問題を理解し、解決の為に政策立案能力を養う。
8. 将来、社会の一員として働くことの意識を高めるとともに、キャリア形成のための基盤を形成する。
9. 課題を発見し、自ら調べ、解決策を導き出す能力を培う。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学年	開講期	
			前期	後期
33167	生活経済論A	2～4		
33169	生活経済論B	2～4		
33203	環境経済論 I	2～4		
33205	環境経済論 II	2～4		
33207	環境政策論 I	2～4		
33209	環境政策論 II	2～4		
33211	農業経済論 I	2～4		
33213	農業経済論 II	2～4		
33215	農業政策論 I	2～4		
33217	農業政策論 II	2～4		

※授業科目の内容および開講期は、Webシラバスでご確認ください。